

主語と述語を見つけよう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

長い文の中から、主語と述語を見つけよう

まず、たしかめよう

- 述語**... 「どうする・どんなだ・何だ・ある（いる）」に当たる言葉。文の終わりにあることが多い。
- 主語**... 「何が（は）・だれが（は）」に当たる言葉。
- 長い文では、まず述語を見つけて、「何が？」とたずねる。

いっしょにやってみよう

れい 「池のそばの 古い木の下で、白いねこがねむっている。」

- ① 述語は「ねむっている」。
- ② 「何がねむっている？」
- ③ 主語は **ねこ**が

やってみよう

できたところまでで OK

主語が書かれていない文もある。そのときは、前の文から考える。

1 主語と述語を書き出そう。

山の上の 小さな 小屋に、明かりがついた。

(1) 主語

(2) 述語

2 述語を一つ選ぼう。「夕方の 空は、とても 美しい。」

☐ 空は

☐ とても

☐ 美しい

3 主語がない文は？

☐ きのう、駅前で本を買った。

☐ 駅前の 本屋が開いた。

答え

1. (1) 明かりが (2) ついた 2. 美しい 3. きのう、駅前で本を買った。

漢字（学ぶ）

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう（3もん）

🚩 きょうの
めあて

学ぶことに使う漢字「^{おぼ}覚・^{くん}訓・^{けん}験・^{こころ}試」を読んで書こう

🔍 きょうの漢字

音 カク
訓 おぼ(える)・
さ(める)
かんかく め さ
感覚・目が覚める
下は「見」

音 クン
訓 ^{くん}訓読み・^{くんれん}訓練

音 ケン
験 ^{じっけん}実験・^{たいけん}体験
左は「馬」へん

音 シ
訓 こころ(みる)
しあい しけん
試合・試験

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「おぼえる」を漢字で書くと？

① 上は「ツ」と
「㇀」の形。

② 下は「見」。
送りがなは「える」。

③ 答え 覚える

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 九九を覚える。

(2) 漢字の訓読みを調べる。

(3) 水を使って実験をする。

(4) サッカーの試合を見る。

② □に漢字を書こう。

(1) 朝早く目が ^さ□ める。

(2) 犬の ^{くん}□ 練。

(3) 牛をかう体 ^{けん}□ をした。

(4) ^し□ 合に勝つ。

③ 正しい送りがなに○をつけよう。

(1) 九九を（覚える・覚ぼえる）。

(2) 目が（覚める・覚さめる）。

答え

1. (1) おぼ (2) くん (3) けん (4) し

2. (1) 覚 (2) 訓 (3) 験 (4) 試

3. (1) 覚える (2) 覚める

登場人物と場面をつかもう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

物語の「いつ・どこで・だれが」をつかもう

🔍 読む文章

- ① 夏休みの、ある夕方のことだった。ソラは、川ぞいの道を歩いていた。
- ② 川の上を、赤とんぼが何びきも飛^とんでいる。ソラが立ち止まると、一ぴきが目の前の草に止まった。
- ③ 「きれいだな。」ソラは、そっとしゃがんで、すき通った羽を見つめた。

🗨️ いっしょにやってみよう

📖 いつの話？

① ①の^{だんらく}段落を見る。

② 「夏休みの、ある夕方」。

③ 答え 夏休みの夕方

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 場所は どこ？

☐ 川ぞいの道

☐ 山の上

☐ ^{うみべ}海辺

② ソラが見つめていたのは？

☐ 赤とんぼの羽

☐ 川の魚

③ ソラが「きれいだな。」と言ったときの様子を、本文の言葉を使って書こう。

📖 答え 1. 川ぞいの道 2. 赤とんぼの羽 3. 例：そっとしゃがんで、すき通った羽を見つめていた。

相手と目的をはっきりさせよう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

だれに、何のために書くのかを決めてから書こう

🔍 まず、たしかめよう

- 書く前に、**相手**（だれが読む？）と**目的**（何のために？）を決める。
- 相手と目的が変わると、書く内容や言葉づかいも変わる。
- れい：図書館のよさを、はじめての人に知らせる →
場所・開いている時間・おすすめのたな

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「公園のきまり」を、小さい子に伝える。どう書く？

① 相手は小さい子。

② むずかしい
言葉をさける。③ 短く、やさしい
言葉で書く

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 相手と目的に合う書き方を選ぼう。（相手：大人の人 目的：お願いをする）

☐ ていねいな言葉で、お願いしたいことをはっきり書く☐ くだけた言葉で、思いついた順に書く

② 「近くの本屋のよさを、はじめて行く人に知らせる」とき、書くとよいことを二つ選ぼう。

☐ 場所☐ 開いている時間☐ 自分の好きな食べ物☐ 昨日の天気

③ あなたが書きたいことを一つ決めて、相手と目的を書こう（架空でもよい）。

(1) 相手

(2) 目的

答え

1. ていねいな言葉で、お願いしたいことをはっきり書く 2. 場所・開いている時間
3. 例：相手...はじめて本を読む人 目的...読みやすい本をすすめる

国語辞典を速く引こう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

「はしら」と「つめ」を使って、国語辞典を速く引こう

🔍 まず、たしかめよう

- **つめ**...ページの横にある「あ・か・さ...」のしるし。はじめの字の所を すぐに開ける。
- **はしら**...ページの上書いてある、そのページの はじめと終わりの言葉。
- さがす言葉が、はしらの二つの言葉の間に入るかどうかを見る。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい はしらが「かがみ — かくす」のページに「かぎ」はある？

① あいうえお^{じゅん}順で
ならべる。

② かがみ →
かぎ → かくす

③ 答え **ある**

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

💡 にごる音（だ）も、まず にごらない音（た）と同じとして ならべる。それで同じなら、
にごらない音が先。

① はしらが「しお — しかく」のページにある言葉は？

☐ しおり

☐ しずく

☐ したく

② 「まつり」を引くとき、さいしょに使う「つめ」は？

☐ ま

☐ つ

☐ り

③ 国語辞典にのっている^{じゅん}順に、記号をならべよう。

ア たいよう イ だいこん ウ たいこ

答え 1. しおり 2. ま 3. ウ→イ→ア